

DX宣言書

株式会社きよしホーム

代表取締役 定野 潔

宣言日：2021年5月1日

当社は、不確実性の高い現代社会の変化に対応するために、ITを起点とした情報セキュリティ対策や各種業務のデジタル化、データの収集・活用等を行うことによって企業変革を目指し、顧客ならびに社会から選ばれ続ける企業になることを、以下に宣言いたします。

経営理念

お客様の思いを形にすること。

それを、実現できる施工技術とお客様の本当の声をくみとる技術が『きよしホーム』の強みです。

きよしホームは名古屋に拠点を構え、長年リフォーム業を行ってまいりました。おかげさまで事業も拡大し、愛知県・岐阜県・三重県の東海3県のお客様から約6,000件のご相談、ご注文をいただいています。

我々がお客様とお話する際に、まず気をつけることは、「本当の要望は何か？」「お客様の声を相違なくくみとれているか？」に細心の注意を払います。

材質や機能面で一番よい材料やプランを提供することは当然のことですが、本当にその提案は、理想の暮らしを提供できるのか？ということです。

理想的で快適な暮らしには、もちろん機能や性能も重要ですが、私たちが提案したいのは、工事をした後の「豊かな暮らし」です。

そこには、もちろん予算面やお客様一人ひとりのライフスタイルや地域性・安全性・耐久性・アフターケアなど、リフォーム・リノベーション後の暮らしをあらゆる視点で満足いただける提案を私たちは大切にしています。

もちろん、よいものを提案したいのもプロとして至極当然のこととは思いますが、我々も、それらを使用した場合の効果や利点はしっかりと説明させていただきますが、本当の意味で快適で理想的な暮らしの提案をモットーにしておりますので、お客様にとって無理な提案は一切行いません。お客様にとってすべての面から最良の提案を行うことをお約束いたします。

東海3県のお客様が私たちに望むことは「建物をきれいによみがえらせたい」ということ。

またその背景には、お客様と建物のこれまでの思い出や、リフォーム後の建物とお客様やそのご家族とのこれからなど、言葉では言い尽くせないほどのたくさんの思いを巡らせることでしよう。

DXによって目指す経営ビジョン

DXを活用し、昨今問題になりつつある情報や物の過多による、デフレや物と金の循環の悪さを解消し景気悪化に歯止めをかけるために、生産者も消費者も互いに価値やお金が循環しやすい仕組みやサービスの開発に取り組みます。

DXによって目指す経営方針

商品：時代に合わせた、商品の開発はもちろんのこと新しいサービスや価値の概念を生み出す。

顧客：一度きりのお付き合いではなく一生を視野に入れた循環型の市場を作ることを目指します

社員：現在の業務フローにまずはITを取り入れ、DX化にむけての抵抗力をなくし育成する

会社：業界でも注目されるほど、最先端の技術を購入した体験・サービスを提案

社会：DX化において優位性をもつ企業としての地位が確立できたとしても、おごることなく地域において、デバイス格差の軽減とDXを逆説的にデバイス弱者にとって便利に使えるようにCX&UX活動を行い、地域にとって情報の駆け込み寺となる。